

【課題文について】

太田 肇『「承認欲求」の呪縛』（2019年 新潮社）を、一部改変して用いた。

問1 「承認欲求の呪縛」に陥るのを防ぐには、傍線①「空気を読まない」が良いと筆者は述べています。ここでいう「空気を読まない」とはどのようなことですか。課題文中の言葉を使いながら200字以内で説明しなさい。

【出題の意図と評価のポイント】

課題文を正確に理解し、要点を簡潔にまとめる力をみる設問である。設問は、「ここでいう『空気を読まない』とはどのようなこと」と問うているので、それに対応して答えているかどうかのポイントになる。筆者が課題文で述べている「空気を読まない」は、一般的に使われている意味とはニュアンスが異なることを理解した上で解答しているものに高い評価を与えた。

【講評】

概ね、上記の出題意図を理解している解答は多かったが、「なぜ、空気を読んでしまうのか」について述べたものや、「空気を読まないことの効果」について述べているものもあり、結果として、本来解答すべきことがらに十分には答えきれていないものも認められた。

問2 傍線②『「失敗体験」を積んでおくことも必要である』と筆者は述べていますが、あなたはどうか考えますか。課題文を踏まえ、見聞や体験をもとに800字以内で述べなさい。

【出題の意図と評価のポイント】

筆者の主張に対して、自分の意見を明確に論じているかどうかをみる設問である。

したがって、自分の意見として課題文への賛否が書かれていることが求められる。その上で、課題文でいう「失敗体験」とはどのようなことかを把握できているか、また「失敗体験」がある場合とない場合にはどのような状態になるのかを課題文から読み取っているか、が記述されていること。それらに基づいて、自分の考えが適切かつ具体的な事例とともに、分かりやすく述べてあるものを高く評価した。

この設問に対しては、さまざまな解答があり得るが、いずれの場合でも、筆者の主張を的確に理解した上で、自分の考えを見聞・体験をもとに論理的に述べているかどうかのポイントとなる。

【講評】

全体としては、筆者の主張に賛成する立場からの解答が多くを占めた。その際のキーワードとして、「自己開示」や「期待の重荷を下ろし、心理的負担を取り除く」ことの必要性や「高い目標にチャレンジする」ことの意味などについて言及するものが多かった。ただし一部に課題文から離れて「失敗体験」を一般的かつ類型的に捉えて記述しているものが見られた。